

JB Customer Report

カスタマーレポート



岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

株式会社 龍の瞳 様

株式会社龍の瞳の販売企画担当今井様と大林様に、平成27年8月に導入されたORPHIS X7250について感想をお伺いしました。

株式会社龍の瞳様は、全国的にも有名なブランド米「龍の瞳」とその加工商品を販売されています。全国のコンクールでも数々の賞を取り、2012年には岐阜県観光連盟推奨観光土産品のグランプリを受賞、そして2017年には岐阜県で初のグローバルGAPを取得しました。

※グローバルGAPとは・・・農業生産の環境的、経済的及び社会的な持続性に向けた取り組みであり、結果として安全で品質の良い食用及び非食用の農産物をもたらすものです。

自慢の「高級米」だからこそカラーで！

オルフィスを導入する前は、事務的な書類、予約注文書、商品の紹介やダイレクトメール等を2色の印刷機で作成しており、重要ポイントには赤を使うなどの工夫はしていましたが、2色では表現したい事にどうしても限度があり、いずれはカラー化にしたいと思っていました。ブランド米の価値をより多くのお客様に伝播したい思いが日に日に募っていた中で、ジムブレンさんから、その思いを実現出来るピッタリの機械があるとオルフィスの紹介があり、1ヵ月間試用で貸し出しも行ってもらい、シミュレーションにてコスト削減が見込めることが分かり、コレだ！コレしかない！と思い、導入を決めました。

毎月発行する情報誌も、カラーになった事で、2色では出来なかった「色」がダイレクトに表現出来る様になり、季節に合わせた「色」を考えたり、アレンジを加えながらクイズを入れてみたりと、作成にもひと工夫できるようになり、お客様にも目に留めて読んで貰える様になったことで、「次の号はまだ？」というお声や、「毎月楽しみにしています。」といった温かいお便りも頂くようになり、ちゃんと届いて（読んで貰えて）いるんだあ！と感激しています。また、カラーになったことで私たちも作ることが楽しくなり、商品発送の際にA5サイズの商品説明やパンフレットを作成して同封していますが、その種類がだんだんと増えてきているんです。オルフィスにした事で自慢の高級米（商品）の高級感をやっと伝える事ができたので作成にも腕が鳴ります。また、内製化によりタイムリーな情報もすぐに入れられ、必要枚数だけ刷れることがいいですね。ただ、作りたいものや、やりたい事のアイディアがどんどん湧いてきても、今は作成する人手が足りてないので困っています（笑）

年賀状や、クーポン付のキャンペーンハガキ、春だよりのハガキなどもオルフィスで印刷していますが、仕上がりの速さにもビックリですね。年賀状印刷は、年賀状ソフトを使って宛名印刷までしていますが6000枚もの印刷もあっという間にでき、オルフィスの他にも置いてあるカラープリンターとは断然スピードに差があり、時間のロスなく印刷ができてホントにオルフィスにして良かった！と実感しています。ただ、画質の面では、インクジェットだから印刷する用紙によって見え方が変わるので、印刷用紙には気をつけています。

今、オリジナルでお米をくるむ包装法を考えています！

お客様からお米袋にオリジナルの写真を入れて欲しいと要望があり、オルフィスで作成できないのか検討していましたが、最大サイズ550cm×340cmまで通過可能だとお話を伺ったので、このサイズに印刷をして「のし」の様にお米の袋を巻く包装紙ができないか、1つの案として考えてみたいですね。また和紙などの特殊用紙の印刷にも興味があるので、ジムブレンさんにも相談をしながら、オリジナリティのあるパンフレット印刷にも挑戦し、自慢の高級米をPRする為、オルフィスに一役買って貰おうと思っています！



商品発送時に商品案内のパンフレットには印刷用紙にもこだわっています。



季節ごとに「色」を意識してカラーならではの情報誌にしています。

営業担当者の声

営業担当：井戸 健二

アイデア豊富で、オルフィスを有効に活用して頂いてますので大変刺激を受けております。

また、お客様向けの印刷物に彩りを加える事で「伝わる」を実感して頂いている事を嬉しく思います。

これからもオルフィスによってより良い物を創り上げて頂けるよう御提案していきたいです。

